

所沢市立所沢中学校 学校だより

所中だより

令和5年8月30日 第6号

学校教育目標
「自立・共生・貢献」
・求めて学ぶ（自主性）
・共に生きる（人間性）
・力を尽くす（社会性）
校長 江原 勝美

【特色ある学校づくり宣言】 本校は、**さわやかな挨拶**・**心に響く合唱**・**地域に根ざす学校**を目指します。

〒359-1118 所沢市けやき台2-44-1 TEL 04-2922-4138(FAX:4139)
<http://www.tokorozawa-stm.ed.jp/tokorozawa-jh/k> E-mail tokorozawa-j@tokorozawa-stm.ed.jp

常識への挑戦「報われた」

高校野球に新しい風が吹いた。第105回全国高校野球選手権記念大会で23日、慶応（神奈川）が、107年ぶり2度目の優勝を果たした。自由な髪形に象徴される従来のスタイルにとらわれない「エンジョイ・ベースボール」で頂点をつかんだ。（8月24日の新聞記事より）

高校野球と言えば丸刈りが当たり前でしたが、ここ数年「脱丸刈り」の変化が見られます。日本高野連の調査では、全体の約7割に「脱丸刈り」の流れが進むとう結果が出ているようですが、今回の甲子園出場校では7校でした。「個人の自由」や「大切なことは見た目よりも中身」という意見がある一方、「一体感が出る」「清潔感がある」「伝統」といった意見もあり、選手自身が「母校の伝統を変えるのは嫌だ」と反対した学校もあると言われています。

今年の春の選抜高校野球、延長戦で1点を奪うことができず仙台育英にサヨナラ負けを喫した慶応。以来、1点にこだわり「日本一を目指し、常識を覆すという目的に向けて頑張ってきた」と伝えられています。モットーは「常識にとらわれないこと」。選手の髪型は自由、練習メニューも選手自らが考え自主性を大切にします。

この夏、決勝戦で運命の再戦をした両校。慶応は進学校、仙台育英はスポーツ強豪校と非常に対照的なイメージがあり、注目されました。慶応は「エンジョイ・ベースボール」という言葉で取り上げられることの多かったことや自由な髪形が話題になり、練習も厳しくない（ゆるい）、自由というイメージ、対して仙台育英は、全国から集められた選手達が連覇をかけて非常に厳しい練習に耐えてきた、正に対極にあるかのように思われがちでしたが、慶応の大村主将は「自分たちで考える分、練習の効率は良いですが、決して楽ではありません。練習量が必要な時は、1日1000スウィングした」と話しています。1日1000スウィングは、とてもハードな練習です。世の中の多くのことが過渡期を迎えている今、慶応は、森林監督の「常識を疑おう。そして、考えよう」の言葉を選手一人一人がしっかり受け止め、自分達なりに考え、チームとしてまとめ、目指すベクトルの方向を一つにし、さらに「個人とチーム」「練習の質と量」「フィジカルとメンタル」のバランスをしっかりと考えて取り組んできたのでしょう。チームとして「一人一人が、自ら考えて行動する野球を通して、選手の「成長」と「勝利」の両立を追求してきた慶応野球部の意識改革と努力が実を結んだ瞬間だったと思います。優勝インタビューで、優勝が決まった瞬間の気持ちを問われた主将は、「高校野球の常識を変えたいと大きなことを言って、笑われることもあったけど、日本一になると頑張ってきた。つらい思いが全部報われたと思う瞬間だった」と言っていました。「エンジョイ・ベースボール」と称されるように、ミスをした時の仲間への声かけ、ピンチでマウンド上に集まったときの笑顔、ベンチの雰囲気等、「野球をやっていることが楽しそうだな」と思わせてくれました。野球（スポーツ）の原点を、思い起させてもらいました。

私も小学校から野球を続けてきました。時間前の行動、グラウンドに一礼、挨拶は大きな声、道具を大切に扱う、ラインを踏まない、人の話を聞くときは帽子をとる、足をそろえてのランニング、体操、練習後のグラウンド整備やごみ拾い、そんな中で、ひたむきに、がむしゃらに、一生懸命白球を追って来ました。振り返ると、そんな姿

に「真面目さや一生懸命さ」さらに「純粹さ」を感じたり、苦しさや厳しさを乗り越えて「感動」があると考え
ていた時代かもしれません。今の自分の中にも、野球を通して身についた行動や習慣もたくさんあります。その
ことでよかったと思うこと、役に立っていることも少なくありません。大谷選手の言動も見ていても「野球で身
についた行動」と思わせることが多くあります。しかし、私たち大人は、時代が大きく急激に変わっていく流れ
の中で、変わっていくこと、変えていくこと、失ってしまうことに不安を感じているのかもしれません。慶応高
校野球部は、新しい時代に向けて、変えていくことに意欲的で、強い信念があったのでしょうか。

長い歴史の中で変わらないことの良さがある一方で、世界的な気温上昇によるこの夏の暑さや、日本社会の抱
える少子高齢化、車の自動運転や AI などの技術発展など、時代の変化、社会のニーズ、価値観の多様化などに
合わせて、変えていかなければならない時代なのだと感じさせられます。変えるためには工夫（アイデア）と挑
戦（勇気）が必要です。挑戦には失敗がつきものです。失敗は誰でも嫌ですが、一度も失敗のない人生はないで
しょう。野村克也氏は、「失敗と書いて成長と読む」という言葉をよく使われていました。「失敗を恐れるより、
挑戦しない自分を恐れたい」という言葉もあります。本日から始まる 2 学期は、生徒会役員選挙、新人戦、体
育祭、合唱コンクールなど、生徒の活躍の場がたくさん用意されています。所中生も、「自己の成長」に向けて、
勇気をもって挑戦するよう指導してまいります。

32 年間止まっていた時計の針をついに動かした！

ご存じの方もいると思いますが、紹介します

ハンガリーのブタペストで行われた世界陸上男子 400m。44 秒 77 で日本新記録を 32 年ぶりに更新した佐藤拳太郎選
手は、狭山ヶ丘中学校出身です。中学校では野球部に所属。進学した豊岡高校では、入学当初は天文部に所属。陸上部の部
員が「クラスに速い子がいる」と顧問の先生に話し、声をかけられて入部となったという話です。この時に、佐藤選手が入
部を断っていたら今回の日本記録はなかったこととなります。また、佐藤選手自身の努力はもちろんですが、佐藤選手に声
をかけたクラスメイト、入部を進めた顧問の先生、その後の、指導者やライバルとの出会い、何か一つが欠けていてもこの
記録はなかったかもしれません。努力、可能性、恩師との出会い、仲間との絆・・・大きな力を感じます。

Photo Gallery



夏休みに行われた小学生算数教室「トころのびのび塾」
で本校生徒がボランティアとして、先生になりました。
いつもより少し大きく、とても頼もしく見えました。

地域のお祭りでは、大変お世話になりました。
学校では見られない表情がたくさん見られました
10 年後は運営側で活躍してくれることでしょう！

9月の主な行事予定

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 8/30 (水) 始業式 防災訓練 | 14 (木) 3年学年朝会 生徒会選挙リハーサル |
| 8/31 (木) 短縮3時間 | 15 (金) 生徒会本部役員選挙 |
| 9/1 (金) 給食開始 新人大会陸上 | 18 (月) 敬老の日 |
| 2 (土) 地域防災訓練 | 20 (水) 3年ステップアップ調査 |
| 4 (月) 二者相談 | 21 (木) 新人大会 |
| 5 (火) 二者相談 | 22 (金) 新人大会 |
| 6 (水) 二者相談 | 23 (土) 秋分の日 |
| 7 (木) 専門委員会 英語弁論大会 | 26 (火) 新人大会 |
| 11 (月) 教育実習 ~29日まで | 27 (水) 新人大会予備日 |
| 12 (火) 1年学年朝会 | 28 (木) 新人大会予備日 体育祭係会② |
| 13 (水) 2年学年朝会 体育祭係会① | 29 (金) 新人大会予備日 |
| | 30 (土) 地区代表決定戦 |